

スマートフォンを活用したビジネス・サファリ

—都市型フィールドワーク入門のための一技法—

大林 守*

はじめに

本小論は、スマートフォン（以下、慣例に従いスマホと略す）を活用することにより、大林・神原（2018）が開発したビジネス・サファリを、より取り組みやすく、かつ効率的に実行する一手法の紹介である。

ビジネス・サファリとは、ビジネス教育における都市型フィールドワーク入門用のアクティブ・ラーニング・プログラムである。その意図するところは、日常におけるビジネス現象の観察を、サファリ探検として意識させることにより、心躍る学習経験に転換することにある¹⁾。ビジネス教育への導入用アクティブ・ラーニング・プログラムとして開発したことから、初学者でも取り組みやすいことが重要である²⁾。

ICT革命の結果、学生のほとんどがスマホを携帯する時代となり、その利用にあたっての習熟度も高い事実がある。スマホは、通信、情報検索、情報記録（画像、音声、文章タイプ入力、手書き入力）、そしてGPSによる位置情報の捕捉が可能なデジタル複合機を携帯することを可能にした。さらに、スマホ携帯時の活動情報のタイムラインを自動的に記録するライフログと呼ばれるジャンルのアプリケーションが実用段階に達している。ということは、フィールドワーク実

施にあたって携帯する機材は、極論とすればスマホのみで良い時代となったわけであり、学生にとって身近なものを利用したプログラムを開発するのは自然であろう。

以下では、スマホを活用したビジネス・サファリを実査段階と発表段階の2段階に分けて解説する。第1節では、スマホとライフログのみで実行可能なフォト・サファリを紹介してから、実査手法を解説する。いわば、新しい発見という獲物の“狩り”を行う場合に必要の道具立て、つまりツールボックスである。次に、第2節では、いったん資料を展開してから収束型発想法（KJ法等）を行う際に有用なツールボックスを紹介する。これは、ビジネス・サファリの獲物の“トロフィー”を獲得するためのツールボックスである。最後はまとめにかえて、学生へのメッセージである。

第1節 ビジネス・サファリの実査用ツールボックス

本小論におけるスマホは、ゼミナール生達の所有シェアを参考にApple社のiPhone8の利用を前提とする³⁾。加えて、インターネット接続、必要なアプリケーションが搭載されたPCの利用も前提とする⁴⁾。

1-1. ライフログ・アプリケーションを利用したフォト・サファリ

ツールボックスの中でも、最も利用価値のあるもの

*専修大学商学部教授

は、ライフログ・アプリケーションである⁵⁾。ビジネス・サファリは、日常から新しい発見を探索するプログラムであるから、その実施にあたっては、しばしば道に迷ったり、路地に入り込んだりする。そのため、たどったルート、撮影した画像、取ったメモを整理する手間が大変であった。しかし、スマホのライフログ・アプリケーションが実用的になったことから、行程の位置情報、時間、天気、途中撮影の画像等を自動的に記録し、さらに全行程のマッピングまで可能となった。つまり、ビジネス・サファリのほぼ完全なタイムラインの記録が自動的に残るわけである。

まず、SilentLog（無料ライフログ・アプリケーション・内部課金あり）を紹介する⁶⁾。Silentlogは一度インストールすれば、起動する必要なしに、タイムライン（位置情報・時間・天候情報、移動距離）を記録する。その際にスマホで撮った画像をタイムライン上に記録し、全行程は地図上に展開したものを表示する機能を持っている⁷⁾。移動中の行動、例えば、停止している場合は滞在として記録し、徒歩、車、電車など移動手段も自動的に識別して記録する。スマホで

撮った画像はタイムライン表示において最初の1枚目と枚数を表示する。図1はタイムライン表示のスクリーンショットである。タイムライン表示の左上部に日付、天気、気温が記録され、徒歩時間、そして撮影した最初の画像と枚数、一定時間以上滞在した場所と滞在時間数が表示される。図2は行程マップのスクリーンショットで、地図上に行程と滞在場所がアイコンで表示される。

“フォト・サファリ”は、Silentlogの練習のためのアクティビティーとして考えた。散歩や通学の際に、日常の中に新しい発見を求めてスマホで画像を取り、それを発表するアクティビティーである。普段、ルーティンで行っている活動を新鮮な好奇心で見直し、新たな発見をしようとするものである。

ごく単純な例として、筆者の京都における通勤路のフォト・サファリを紹介する⁸⁾。普段は通り過ぎるだけだが、意識して立ち止まりながら撮影した。図3は、Silentlogのインターネットサイトのダッシュボードから行程マップをダウンロードし、撮影した写真を貼り付けた行程マップである⁹⁾。グーリー



図1 タイムラインのスクリーンショット



図2 行程マップのスクリーンショット

(2016) が提唱する“日常の探検”，つまり「すでに知りつくされた世界で何らかの発見をして，何らかの表現手段を用いてその発見を世に知らしめること」を，PCを利用してごく単純に実践したものである。この作業に要したのは，10分程度と短時間で可能であった。この行程マップに文章を付ければフォト・エッセーが完成する。

1-2. ビジネス・サファリ実査用ツールボックス

ビジネス・サファリの実査において有用な機材やアプリケーションを，リストアップしておく。スマホとSilentlogに以下を加えたものをビジネス・サファリ実査用のツールボックスと呼ぶ。

・紙のメモ用紙と筆記用具

すべてスマホで完結するのも一案だが，やはり紙のメモ帳と筆記用具は必要である。メモは1枚1件，表紙のみ利用の原則を守ることにより，ビジネス・サファリの収束的発想法（KJ法等）実施の際に利用できる。そのためには，ポストイット等の貼って剥がせる

付箋紙のブロックメモ，あるいはメモを取りやすく，メモ用紙の抜き差しができるリングメモを用意する¹⁰⁾。付箋紙ブロックメモの場合は散逸しないように紙挟み等にしまう必要がある。さらに，筆記用具として多機能ボールペンが有用であることに疑問はないであろう。

・シンプルカメラ高画質（無料カメラ・アプリケーション・内部課金あり）

純正の「カメラ」はシャッター音が大きく，店内，レストラン，図書館などで写真を撮る場合には，静音シャッター機能が欲しい。「シンプルカメラ」は無料バージョンで十分な機能を持ち，かつシャッター音をオン・オフできる。Silentlogと同期するので，撮影したものはタイムラインに記録される。撮影エチケットとして，個人肖像権の尊重，事前の撮影許諾の遵守は基本であり，隠し撮りといった不適切な利用を奨励するものではないことを確認しておく。

・Office Lens（無料スキャナー・アプリケーション）

標識，ポスター，サイン，手書きメモなどを記録する場合には，スキャナーの方が正確に撮影することが



図3 通勤路マップ

できる。ホワイトボード、ドキュメント、名刺モードでは、赤い枠内に入った画像を歪み補正して記録することができる。専修大学は Microsoft Office365を導入していることから、クラウド・サービスの OneDrive を利用すると PC との連携がシームレスである。

・破損防止用のケース・ストラップとモバイルバッテリー

スマホを常に利用することから、落としたり、ぶついたり破損させる可能性が高いので、ケースで保護し、ストラップで落下防止をする¹¹⁾。

通常よりバッテリーを消費するので、モバイルバッテリーが必要となる。モバイルバッテリーとしては、10000mAh 程度の容量、充電ケーブル内蔵で丈夫で軽いものが便利である¹²⁾。

1-3. ビジネス・サファリの実査マニュアル

実施対象（テーマ、場所、時間、予算等）は決定済みとする。前日までの準備として必要な、下調べ、対象地域・時間・テーマに対応した適切な服装、実査用ツールボックス、ショルダーバッグないしはデイバックなど両手が空くカバン、その他の個人的に必要な携行品の確認などは前提とする。

1. スマホを利用するが、ビジネス・サファリで肝心なのは自分の五感を活用し、新しい発見を探し回ることである。実施フィールドを歩き回り、記録すべき被写体をとにかく多数撮影する¹³⁾。
2. 画像は目線の位置を上下左右と変えて撮る。全体像と近接像をセットで撮る。文字情報やポスターなどは Office Lens でスキャンしておくが良い。
3. フィールドメモを取る。なぜその画像を撮ったのかをメモしておくことは重要である¹⁴⁾。フィールドメモは、手書きでメモ帳に記入の方が手早い。しかし、個人の熟練度によっては、スマホに直接入力の方が効率的な場合もあろう。スマホの場合は、タイプ、手書き、音声入力も可能であるが利用環境により利便性は左右される¹⁵⁾。この類いのアプリケーションは、個々人の好みもあるので、ここでは特定のものを指定しない¹⁶⁾。

フィールドメモで意識しておくべきキーワード

として、5W1H とマーケティング・フレームワークの STP と 4P・4C をあげておく。5W1H はメモの基本であるから必須であり、その上に STP、4P・4C という概念に適合する事実や発見をメモしておくようにすると良い¹⁷⁾。

4. 適時、休憩を取り、メモ帳を整理し、SilentLog のタイムラインをチェックし、GPS 補足の誤りがある場合は修正し、滞在箇所を編集してメモを入力する。手書きメモは Office Lens でスキャンしておく発表の際に便利である。

第2節 ビジネス・サファリの発表用ツールボックス

実査からもどつたら、写真とメモを整理し、発見をさらに深化させ、最終的に発表となる。大量の画像とメモを効率的に整理し、まとめる必要がある。そのため的手法として、タイムライン整理や川喜多二郎 (2017) の KJ 法を利用することが多い¹⁸⁾。

2-1. 一覧性の確保が重要

どのような手法を取るにしても、画像やメモといった素材を、いったんすべて目の前に一覧する必要がある。すべてデジタルに処理する方法として、すべての画像とメモを PC にダウンロードし、大きなスクリーン上に画像やメモを一斉に展開し、関連する画像やメモをひとまとめにしたり、重ねたり、関連性を示したりする必要がある。

例えば、Microsoft Whiteboard のようなアプリケーションは、仮想的なホワイトボード上で、そういった作業のグループワークを可能にする¹⁹⁾。しかし、多くの場合スクリーンのサイズは小さすぎ、一覧性に劣る。また、複数のメンバーが共同して作業を行うことを考えると、スクリーンのサイズだけではなく、場所、機材、そして費用の制約が出てくる。

そのため、現段階ではいったんすべてを紙媒体にハードコピーしてしまう方が現実的である。そうすれば、写真やメモなどの資料を、マグネットや‘貼って剥がせる’糊を利用することにより、教室の黒板・ホワイトボード、イーゼルパッド、静電気で貼れるホワイトボード・シートや模造紙、あるいは大きな机の上



図4 Paperang 熱転写プリンターとその出力



図5 スマホ de チェキ カセット式プリンターとその出力

に展開することができる。それから、資料を移動してひとまとめにしたり、関係性を記号で示したり、見出しを書つたり、といったことをグループで行うことが可能となる。

スマホで撮った画像やメモのハードコピーを取る方法はいくつもあるが、ここではランニングコストが安価なロール紙を使うグレースケール熱転写プリンターの Paperang (図4) と、コストは高いがカラー写真品質のカセット式プリンターのスマホ de チェキ (図5) を紹介する。両者ともインクやトナーを必要とせず、スマホにアプリケーションをインストールすれば、直接印刷が可能となる。熱転写プリンターはコンビニやスーパーのレジで出るレシート同様のものであり、解像度も低いグレースケールだが、印刷スピードは速く、消耗品は安い。カセット印画紙 (instax) は比較的に高価で印刷開始から完全に発色するまで約1分必要であるが、画像はいわゆるポラロイド品質であり、カラー写真とほぼ同等である。

2-2. ビジネス・サファリ発表のまとめ方 (タイムライン整理)

実査後、直ちにできることは、フォト・サファリつまりライフログを利用したタイムライン整理である。

Silentlog のタイムライン記録と撮影した画像 (手書きのメモはスキャン) を整理・加筆すると、短時間の作業で行程記録を作成することができる。PC 上で行えば、よりくわしい行程マップやフォト・エッセーを作成することもできる。(前掲の図3参照)

画像等資料のハードコピーを出したならば、模造紙やホワイトボード・シートを利用し、付箋紙等で簡単な見出しを各資料につけ、貼って剥がせる糊などを活用しながら、キーワードやキーフレーズを媒体上にマーカー等で書き入れれば、フォト・サファリのポスターを作成することができる。

2-3. ビジネス・サファリ発表のまとめ方 (KJ法)

KJ法を開始するにあたっては、特に最初の段階において資料の一覧性が重要である。スマホで撮影した画像やメモなどのスマホ画面のスクリーンショット等をプリントアウトし、加えて紙のメモ (付箋紙のブロックメモやリングメモ帳のリングからはずしたメモ用紙) を含めて、すべてを一覧できるように展開し、検討する (図6参照)。それから、関連する写真やメモをまとめて小見出し、中見出し、大見出しという括りを試行錯誤する。図7は、小見出し段階の整理を、付箋とクリアファイルで行った例である。ある程度まと



図6 資料の一覧例

まった段階で、大グループ同士を、グループ間の関係性、シナリオ、ストーリー性を考慮して配置する。大グループ間、中グループ間、中グループ内、小グループ間、小グループ内の関係性を、線や矢印などで相関・因果・相互依存、相反関係を表示し、グループ間の重要性を評価して、最高得点のものを第一知見とする。もし第一知見として相応しくないとせば、上記のステップを納得するまで反復する。

KJ法が終了した段階で、模造紙やホワイトボードシート上に結果を貼り付け、関連性や見出しを清書することでポスターセッション用資料が完成する。あるいは、コンピュータにデータを移せば、パワーポイントでプレゼンテーション用スライドを作成、印刷時に便利なエクセル上に資料を配置して資料ファイルを作成、文書はワードで作成することができる²⁰⁾。もちろん、ホームページやSNSで公表する作業も可能となる。

スマホを持って街に出よう —まとめにかえて—

学生諸君、スマホに Silentlog をインストールして、とにかく“スマホを持って街に出よう”²¹⁾。最初はフォト・サファリで十分である。とにかく面白い被写体を探し、たくさん画像を撮ろう。そして、新しい



図7 クリアファイルによるKJ法の例示

発見を見だし、それを発表してみよう。

次の段階はビジネス・サファリである。ビジネスマインドを持って画像を撮りまくり、メモを取りまくり、そして発表してみよう。座学で学ぶことの多い経済学、マーケティング、経営学等の理論の実例や応用例が、日常の街にあふれていることに気付くだろう。加えて、新しい発想もしばしば身近にあるものから見いだすものである。

注

- 1) 当然、ICTの発展は早く、以下の情報は早々に陳腐化する可能性が高いが、現時点で有用な情報を一カ所にまとめておく価値は十分にあると判断した。
- 2) フィールドワーク入門あるいは解説書の多くは、良書であればあるほどフィールドワークを行う際の注意や困難性をていねいに論じすぎるため、やる気をそがれる場合がある。また、携行機材に関しても、1990年代に話題となったタウンウォッチングの機材をJMAC「ウォッチング」経営塾(1992)でみると、カメラ(折り畳み式ポラロイドカメラ)、ハンディコピー、ボイスメモ、ブック型ワープロ、電子辞書、万歩計といったものが並んでいる。もし、実際にこれらの機材一式すべてを携行したタウンウォッチングをすれば、大型のキャリーバッグが必要になる。
- 3) Androidおよび各種タブレットでもほとんど同じことが実

現可能であるが、一部のマシンでは同じことができないか困難な可能性は存在する。例えば、アマゾン社の Kindle Fire などは Android マシンではあるが利用できないアプリが存在する。

- 4) Microsoft Office あるいは互換ソフトウェアで表計算、ワードプロセッサ、プレゼンテーションが可能な PC。
- 5) 自動的に撮影を続けたり、一定の時間ごとにシャッターを切ったりするライブログ撮影機も存在する。しかし、長時間の記録は、まとめの際にいくら早回しをしても、再生時間がかかり過ぎる。興味を持ったものを撮影する方が効率的である。
- 6) 無料アプリケーションである。https://silentlog.com/ja/ スマホにはアップルストアからダウンロードする。2018年8月16日現在で、30日間240円から利用できるので購入が望ましい。
- 7) 有料サービスを購入すれば、ブラウザでダッシュボード機能を利用でき、くわしい地図上に全行程を記入したものを利用可能となる。また、Android の場合は Journey や Lifelog などで代替可能である。
- 8) 2015年度専修大学長期国内研究員として京都大学経済研究所に滞在していた時のアパートから大学までの通勤路である。
- 9) ホームページ上のダッシュボード利用は有料であるが、安価であり、短期間から利用可能である。
- 10) LIHIT LAB の TWIST NOTE (N-1661) は、リング式でリフィルもあり、要件を満たしている。
- 11) 2018年8月16日現在で2千円程度である。
- 12) 2018年8月16日現在で2千円程度である。
- 13) 藤巻 (2010) は、カリスマバイヤーと言われる自分が研修を受けたニューヨーク・バーニーズのバイヤーが行うマーケティングリサーチを以下のように紹介している。「とにかく歩いて、歩いて、……、自分の足で歩くのだ。……、街を歩きながら、……、五感でじっくりと味わっていた。」
- 14) 同じ写真でも解釈は多様となる。例えば、喫茶店でカップルがコーヒーを飲んでいる写真に「夕食は何を食べに行こうか?」という題で想像するものと、「別離の前」という題で想像するものはまったく異なる。
- 15) 音声入力でも本や論文を執筆する著者が出てきている。https://president.jp/articles/-/20003 (10/27/2018アクセス)
- 16) スマホでフィールドメモを取る場合、自由度が高いのは純正アプリケーションの「メモ」である。しかし、「メモ」は SilentLog タイムライン上に記録が残らない。また、純正メモ内で写真を撮ったものもタイムラインに記録が残らないこ

とに注意する。

- 17) 5W1H とは、Who 誰が、誰に、年齢、性別、服装、容姿、職業、タイプはどのようなか。When いつ、どのような時間か。Where どこで、状況や環境はどうか。What 何をしているか、何を持っているか。Why なぜか。How どのようにしているか。マーケティング・フレームワークの STP は、マーケティング戦略の基本、Segmentation 切り口、Targeting 競争優位のターゲット選定、Positioning 顧客価値やコストに応じた位置付けである。マーケティング・ミックスの基本は、売り手目線の4Pと買い手目線の4C
4P: Product 製品・サービス、ブランド、品質、デザイン、Price 価格、割引、ポイント、Promotion 広告、宣伝、Place 立地、品揃え、そして4C: Consumer 消費者ニーズ、Customer Cost 顧客コスト、Communication コミュニケーション、Convenience 利便性である。

実際のメモの例:

①例えば、コンビニ呑みで購入したお酒とおつまみで立ち飲みしているグループを発見したとする。Who: 若いサラリーマンで男ばかりの同僚。Where: コンビニ前・横、駅の近く。When: 終業後の帰宅前。What: 個別に缶ビール・缶酎ハイとおつまみ。How: 帰宅前にコンビニ前や公園等、ちょい呑みでコスト最小化(疑似角打ち)。呑んで話したら、そのまま別れて、それぞれが自分の予定へ。時間を取り過ぎない。サクッとした関係か。

- ②繁華街の居酒屋で曜日によるレディース割引の広告を発見したとする。S: 客が減少する曜日に女性をターゲット、T: 女性の顧客獲得と顧客維持、P: 女性用メニュー充実、女子会誘致。4C: Customer キャリアウーマンの女子会、Customer Cost 女性ばかりで割引、Communication 女性のみでも入りやすい店、女性が多い店に男性客が惹かれる、Convenience ホテルやレストランでの女子会は幹事が面倒。
- 18) その他に SWOT 分析を利用する場合や、ストーリー化する場合もある。問題解決の場合は SWOT 分析が適している。ストーリー化は叙述的にも空想・連想的にも利用できる。例えば、4コマ漫画エクササイズでは、関連する4枚の写真やメモをならべ、クリアファイル(クリアバッグ)に挟み、付箋を利用したストーリーの吹き出しを作成する。連想のための4コマ漫画であるから、おもしろさを追求する必要や起承転結にもこだわる必要はない。例えば、サファリの途中で行列の食堂をみつけ、ランチを食べたがおいしくなかった。①路上にあるランチメニューの立て看板と行列の写真、②メニューの絵と値段、③テーブルの上のランチプレートの写真、④ほとんど手つかずのランチプレートの写真という4

枚の写真をストーリー化する。「お、また行列だ!」, 「ランチ定食は、煮込みハンバーグ, サラダ, スープ, ライス付き500円」, 「来た、来た!」, 「あーあ、やっぱり、このあたりで一件しかない食堂だと、こんなものか」(地域独占の弊害というテーマ)あるいは、連想の訓練として、写真やメモをベースに謎かけ(〇〇とかけて、△△ととく、その心は、××である)をつくる。①お題のキーワード、②連想ワード、③同音異義語をさがす、④つなげるという作業を行う。例えばスポーツクラブの広告とがん検診のポスターがあったとしよう。①お題「スポーツクラブ」、②連想「脂肪を減らす」、③同音異義語「死亡を減らす」、連想「がん検診」をつなげると、「散歩」とかけて「がん検診」ととく、その心はどちらも「しぼりを減らす」のが目的である。ブレンストーミングの発想法のひとつとして利用可能である。

19) <https://products.office.com/ja-jp/microsoft-whiteboard/digital-whiteboard-app> (10/17/2018アクセス)

20) スマホの写真をそのままコピーしてファイルに貼り付けると巨大なファイルとなることがあり、写真ファイルは縮小した方がよい場合がある。そのような場合は、下記を利用することによりファイルを縮小することができる。

- ・ウェブ上の縮小サービス(無料): <https://resizer.myct.jp/> (10/17/2018アクセス)
- ・フリーウェア: 縮小専用 <https://freesoft-100.com/download/shukusen/> (10/17/2018アクセス)

21) 藤巻(2010)には、以下の様な文章がある。「街歩きのいいところは、自分でスキなように気の向くまま、風の吹くままに歩けることだ。……でも、ちょっとだけ『気にして』みながら歩くだけで、探し続けていた『好きなこと』が見つかったりする。」

参考文献

- 大林守・神原理(2018), 発見のためのビジネス・サファリ: ビジネス教育用アクティブ・ラーニング手法, 専修商学論集 106, pp.41-62, 専修大学学会
- 川喜多二郎(2017), 発想法 改版—創造性開発のために, 中公新書, 中央公論社
- グーリー, トリスタン(2016), 日常を探検に変える—ナチュラル・エクスプローラーのすすめ, 紀伊國屋書店
- JMAC「ウォッチング」経営塾(1992), 市場から何が読めるか—戦略マネジャーのタウンウォッチング, 日本能率協会マネジメントセンター
- 博報堂生活総合研究所(1990), タウン・ウォッチング—時代の「空気」を街から読む, PHP研究所(PHP文庫)
- 藤巻幸夫(2010), ビジネスパーソンの街歩き学入門, ヴィレッジブックス
- 〈本小論は、2018年度商学商学研究所研究助成「都市型ワールドワークの技法」の成果の一部である。〉